

『生活支援体制整備事業の新しいカタチー。』

～ 活動の工夫と成果の見せ方 ～

1. 目的 地域包括ケアシステムの強化に向けて生活支援体制整備事業が手探りで進められて、数年が経過しました。この中で、さまざまな成果が上がっていますが、共通するのは関係者だけでなく事業の主体たる住民の意識変化や意欲の広がりがみられることでしょう。今回の研修では、全国や県内の最新情報も得ながら、これらを可能にするような情報共有のあり方、あるいは成果の見せ方の工夫について、地域包括支援センターと生活支援コーディネーターで共に学びたいと思います。

2. 日時 令和 2年 9月 29日 (火) 13:00～17:00
(受付12:30～)



3. 会場 広島県社会福祉会館 2階 講堂
広島市南区比治山本町12-2 Tel. 082-254-3416 Fax. 082-256-2228

4. 受講対象・定員 (60人)

- (1) 地域包括支援センター及び在宅介護支援センターの職員
- (2) 生活支援コーディネーター
- (3) 行政機関の関係職員等

※ お申込みは、先着順となりますが、定員数を超えるお申込みがあった場合は、つぎの人の受講を優先させていただきますので、ご了承ください。

- ① 本会会員
- ② 生活支援コーディネーター及び地域包括支援センター職員 (本会非会員)
- ③ 行政機関の関係職員等

5. 内容 <講義>

テーマ 「生活支援体制整備における最新情報」
講師 一般社団法人コミュニティーネットハピネス
代表理事 土屋 幸己 氏

<座談会>

テーマ 「With コロナの時代に行った活動の工夫とぶつかった課題」

進行 坂町地域包括支援センターセンター長
坂町生活支援コーディネーター (第1層) 木下 健一 氏

演者 庄原市社会福祉協議会
庄原市生活支援コーディネーター (第2層) 奥田 久美子 氏

尾道市向島地域包括支援センター社会福祉士
尾道市生活支援コーディネーター (第2層) 榊原 章恵 氏

広島市社会福祉協議会
広島市統括生活支援コーディネーター(第1層) 箱崎 太貴 氏

助言者 一般社団法人コミュニティーネットハピネス
代表理事 土屋 幸己 氏

